

公民館だより なかがわ

第484号

令和5年3月1日

発行 中川地区公民館

TEL.Fax : 679-2501

令和4年度 「笑いと健康のつどい」開催

2月4日（土）中川地区会長会主催の「笑いと健康のつどい」が開催されました。今年もコロナウイルス感染防止のため、密にならないよう一般公募はせずに行われました。

トップバッターは現役の大学1年生で、デビューしたばかりの期待の新星、遊歩亭 千早師匠の「転失気」。初々しさもありましたが、落ち着いた話しぶりは貫禄さえありました。続いて、地元上山出身、山彦亭 虎之輔師匠の「時そば」。本当にお蕎麦を食べているような演技と歌が最高です。仲入りを挟んで、トリは、浅草亭 恋之介師匠の「先駆け一代記」。新作落語で、初めてのネタを披露していただきました。それぞれ個性豊かな話しぶりで、終始会場を沸かせ、笑いの渦となってあっという間の時間となりました。“笑い”は副作用のない“薬”とのこと。たくさん笑うことでどんどん免疫力をアップさせ、コロナウイルスにも打ち勝ち、今年1年の活力になってもらえれば！と思います。来年こそは一般公募をしたいものです。

遊歩亭 千早



浅草亭 恋之介



山彦亭 虎之輔



わんぱく広場 「雪と遊ぶ会」

1月27日（金）わんぱく広場「雪と遊ぶ会」が3年ぶりに公民館広場を会場にナイター設備を使い、参加者 42 名で開催されました。広場の雪が全て消えてしまい心配していましたが、当日までに降った雪で広場はふっかふっか！！絶好の雪遊びが出来ました。スノーフラッグゲームや宝探しゲームでは、思いっきり雪の中に飛び込み『冷たい』『何処にあるの？』と終始歓声が聞こえ、楽しく過ごす事が出来たと思います。来年もまた開催したいですね。お手伝いいただいた皆様、ご協力ありがとうございました。



「パッチワーク教室」

1月27日(金)、2月10日(金)、17日(金)「パッチワーク教室」が行われ、各自作りたいものを型紙から作成し、布を型紙に合わせて切って、一つ一つつなげていく作業をしているところです。とても根気のいる作業ですが、講師の板垣さんにアドバイスを受け、お話をしながら皆さん楽しく取り組んでいました。



女性学級きらい

2月7日(火)第11回女性学級きらいは「映画鑑賞」で、フォーラム山形にて『THE LEGEND & BUTTERFLY』を鑑賞してきました。木村拓哉と綾瀬はるかの共演に



より、織田信長と正室・濃姫(別名:帰蝶)の知られざる夫婦の物語を描いた作品で、3時間程の長い映画でしたが、あっという間に感じるほど素敵な作品でした。会員の皆さんより「楽しかったあ」「感動した!」との感想を頂き、とても充実した時間となりました。

出前スポーツ教室

「ストレッチヨガ」

2月10日(金)出前スポーツ教室2回目の「ストレッチヨガ」が横倉先生指導のもと開催されました。ヨガのポーズをしながら、肩や背中、太ももなどをしっかりと伸ばし、寒さで凝り固まった筋肉を十分にほぐしていきました。※3回目の「足腰元気体操」は定員に達しました。



単発講座「救命救急講座」

2月10日(金)17名参加で「救命救急講座」が開催され、上山市消防署より2名の署員にお越しいただき、心肺蘇生法とAEDの使い方を体験しました。いざ目の前で倒れている人をみたらパニックになるのは当然です。本日の講座により、いざというときに①119番通報 ②AEDの手配をして心肺蘇生法をするという対応が、少しでも冷静にできればと思います。



中川地区

子ども会育成会連絡協議会反省会

2月17日(金)、上記反省会が行われ、多くの感想・意見を伺うことができました。令和4年度も、ガラス彫刻教室、少年少女球技大会、雪と遊ぶ会などに多くの子供た参加してくれました。会議での意見を取り入れながら、来年度もより良い事業を開催していきたいと思います。各地区子ども会育成会会長の皆様、ありがとうございました。



おめでとうございます

山形県が生産量日本一を誇る「啓翁桜」。その出来ばえを競う品評会が、1月25日(水)霞城セントラルで開かれ、最高賞の県知事賞に鈴木 俊さん(甲石)が選ばれました。公民館でも、新年祝賀会より飾っておりましたが、来館された方々の心を癒し、目を楽ませてくれました。本当におめでとうございます♪



【土日祝日】公民館の早朝使用を試行します

土日祝日における早朝使用の需要把握を目的に試行します。試行期間内の土日祝日(12月29日から1月3日までを除く)は、午前7時から地区公民館を使用することができます。

試行期間 令和5年4月1日(土)～令和6年3月31日(日)

※申請方法は従来通りです。詳しくは、公民館までお問い合わせ下さい。

会員募集中!

4月からの各種会員を募集しております。
2月に地区回覧しておりますが、詳しい内容は、公民館までお問い合わせ下さい!

★パソコンクラブ (月1回)

Word と Excel を学んでみませんか?

会費 無料

★グラウンドゴルフ愛好会 (毎週月曜日)

みんなでワイワイ仲間作りと健康作り!
(12月~3月は、ピンポンで体力作りができます。)

年会費 1,000円

★詩吟教室 (月3回)

大きな声でストレス発散、腹式呼吸で健康促進!

会費 無料

★ウォーキング教室 (年間7回)

楽しく歩いて心も体もリフレッシュしよう!

会費 無料

★そば打ち教室 (月1回)

自分で美味しいそばを打ってみませんか?

材料代 500g 500円

★スポーツ麻雀愛好会 (月3回)

脳の活性化に! 3無ルールでプレイしよう!

会費 無料

★ラージピンポン愛好会 (毎週木曜日)

ピンポンで楽しく健康作りしませんか?

会費 無料

おしらせ

※令和4年度まで会員募集していました「女性学級きらり」ですが、令和5年4月より一般講座に変わり、どなたでも参加可能になります。募集方法は、館報にて都度募集いたします。講座により募集期間・定員・参加料金が異なりますので、ご確認の上、公民館へ来館か電話での申し込みになります。

行事予定



3/1(水)	市報・館報 第2回福祉村だより
3/3(金)	施設訪問 中川地区会長会 公民館運営協議会
3/7(火)	第1 2回そば打ち教室
3/10(金)	第1 2回パソコンクラブ
3/14(火)	第1 2回女性学級きらり
3/20(月)	中川地区監査
3/24(金)	中川地区会長会 公民館運営協議会
3/27(月)	令和5年度新会長顔合会
3/31(金)	市報・館報
詩吟教室 (火曜日)	3/7、14、28
ラージピンポン愛好会 (木曜日)	3/2、9、16、23、30
スポーツ麻雀愛好会	3/4、18 (土曜日) 3/23 (木曜日)

行事予定



4/4(火)	中川地区会長会総会 公民館運営協議会総会 中川地区合同懇談会
4/7(金)	粋いき倶楽部代表者会議 第1回主事部・体育部合同会議 第1回体育部会
4/8(土)	中川小学校入学式・北中学校入学式
4/11(火)	福祉村第1回実行委員会
4/14(金)	第1回パソコンクラブ 第1回子ども会育成会
4/18(火)	第1回そば打ち教室
4/19(水)	中川地区戦没者追悼式
4/20(木)	第63回中川福祉村村会議
4/21(金)	第1回ウォーキング (職員不在時間あり)
4/25(火)	地区公民館職員合同会議 (職員不在時間あり)
4/29(土)	会長会・中川小PTA 顔合せ
詩吟教室 (火曜日)	4/4、11、18
ラージピンポン愛好会 (木曜日)	4/6、13、20、27
スポーツ麻雀愛好会	4/8、22 (土曜日) 4/13 (木曜日)
グラウンドゴルフ愛好会 (月曜日)	4/10、17、24

退職のご挨拶 佐藤 友治

平成28年4月から7年間、中川地区公民館事務長として勤めさせていただきました。ひとえに、先輩諸氏のご指導、ご鞭撻の賜物と感謝申し上げます。事務長を経験したことで、中川地区についてさらに深く知ることができ、諸事業を通して、地区の方々とは知り合うことができたことは、今後の人生の宝物です。ありがとうございました。心残りがあるとすれば、福祉村大運動会が、悪天候等で1回しか開催できなかったことです。最後に、今後の中川地区の発展と、地区民の皆様のご多幸をお祈りいたします。

「昭和考、問わず語り（その25）」

甲石地区 高橋 正之

昭和初期、政治は混迷を深めた。「張作霖事件」(昭和三年六月四日発生)が田中内閣を辞職に追い込み、また後継した浜口内閣も世界恐慌の大波を受け窮地に陥った。そしてその窮地を冷害が襲ったのである。

〈田中内閣が総辞職〉

田中首相は、「張作霖事件」の首謀者を処罰する方針で、昭和三年八月、アメリカ、フランスの主唱で結ばれた「不戦条約」に参加するなど、中国以外には依然協調外交の方針を取り、国際協調維持のため首謀者を処罰し、正々堂々とした態度を示そうとしていた。しかしそれでは、国際的に日本が恥をさらして満州権益をすべて失いかねないと心配した一部の閣僚が巻き返した結果、田中首相は、事件を隠へいし、閣僚者は軽微な処分とすることに方針を変更した。

昭和天皇は、田中首相が選挙を有利にするため警察関係者の人事異動を行ったことや治安維持法を緊急勅令によって改正したことなどに對し不満を高めていた。そしてついに、これ以上田中首相の失政を放任しておくことは天皇の権威さえ揺るがしかねないという牧野伸顯内大臣をはじめ側近たちの助言に従い、昭和四年六月二十七日、「張作霖事件」の処理について報告に来た田中首相に不信任の意を示した。

田中首相は、失政続きで、野党やマスコミ、貴族院、論壇、学界など広範囲の批判を浴び、ついに天皇からも見放されるといふ不名誉な結末を迎えたことから、昭和四年七月二日に至り内閣総辞職を行った。
史上初の天皇による不信任という不始末による心労のためか、田中義一は辞任直後の九月に心臓発作で死去した。

〈浜口内閣成立、金解禁〉

元老・西園寺公望は、後継首相に民政会総裁の浜口雄幸を天皇に推薦し、昭和四年七月二日に浜口内閣が成立した。(写真①)
しかし内閣成立直後、地方私鉄の買収を巡る大規模な汚職事件(私鉄疑獄)が発生し、世論の政党政治批判は更に強まった。

浜口内閣は、アメリカ、イギリスから招かれていた海軍補助艦制限のためのロンドン海軍軍縮会議への参加を決めるとともに、日本経済を世界経済に結び付けることで合理的な発展を図ろうとして、昭和五年一月に「金輸出解禁」を断行し、金本位制に復帰した。また、金解禁直後には、衆議院で解散総選挙を実施し、国民の支持を得て民政会が過半数を獲得した。

しかし、その解禁の時期が悪かった。前年秋(昭和四年十月)のニューヨーク株式市場での株価大暴落に始まった「世界恐慌」の影響がまさに波及する時期であった。また、旧平価で解禁したため、貿易不振と景気後退が始まり株価や生糸価格の暴落を招いた。失業者は増え、生糸を筆頭とする農産物価格の下落により農家の負債も増大し、国民は困窮した(以上は、「昭和史」古川隆久著「くま新書」より)。写真②は、金解禁の当日、日銀に金貨の兌換を求める人が押し寄せた様子。写真①とともに「昭和二年日の全記録」(講談社刊)より。

〈不況に冷害が拍車をかけ農家が困窮〉

当時の中川村の農業生産のウエイトは、米と繭が主であった。中でも蚕業の依存度が大きかったことから、真っ先にその被害を被った。中川村の昭和元年の養蚕一戸当たりの年間収入は四百四十七円だったが、昭和五年は百七十円、六年は百八十七円、九年に至っては百円まで減少した。更に昭和六年には、この地を冷害が襲った。この冷害の様を「山形県震災年表」は次のように伝えている。

(昭和六年)二月厳寒。四月低温頻雪多雨、五・六・七月又低温、就中七月は山形測候所創立以来未曾有の冷気で、降雨頻繁頗る稲作を害し、(中略)山間地方には青立の所生じたが八月高温多照となったため平野部にては稲作持直し、九月に入って再び草冷となっ

た。(中略)

こうした冷害により、価格は、水稲は漸減、桑園は不定、繭の場合は極めて大きな落ち込みが見られた。さらに昭和九年も冷害に襲われ、深刻さを増した。この結果、将来の見通し不安から各種金融機関が融資を梗塞する傾向に辿り、更に農業収入の減少による各種税金の未滞納により町村の財政の破たんを生じた。生活困窮状態は、農家のみならず一般市井の隅々まで及んだ。当時、教員の俸給は優遇され、一般庶民の羨望視されていたが、凶作による町村財政ひっ迫により、俸給の遅延や未払いを余儀なくされた。失業も増え出稼ぎも増加した。昭和九年にはこうした経済の影響により欠食児童が続出するようになった。(「上山市史」「中川郷土史」より)。写真③は、昭和六年冷害に見舞われ困窮を極めた青森県の農家一家の様子。「女たちの昭和史」(大月書店刊)より。

(次回は、不況と冷害の窮状の様を記述する予定です。)



(写真①)



(写真②)



(写真③)